

平成 28 年別府市観光動態要覧

別府市観光戦略部

観光課

平成 28 年別府市観光動態要覧発表にあたって

本要覧は、平成 28 年 1 月から平成 28 年 12 月までに別府市を訪れた観光客の動態を調査し、観光客数の推移や消費額等についてまとめたものです。

別府市の観光客数は、観光庁によって策定された「観光入込客統計に関する共通基準」に準じた集計方法により、算出しています。宿泊客数は別府市入湯税の申告データにより、算出しています。

この要覧により、別府市観光の現状を御理解いただき、今後の観光事業推進の参考として活用していただければ幸いです。

別府市は、今後も関係機関と協議を続け、調査・集計方法について都度見直しや改善を図ってまいります。実態を反映した精度の高いデータを充実させることにより、これまで以上に活用できる観光動態要覧の作成に努めていきたいと考えています。

資料提供等いただきました関係各位の御厚意に深く感謝の意を表しますとともに、今後とも御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

別府市観光戦略部 観光課

目 次

資料提供機関	1
別府市の観光客数等の算出方法	1
I 平成 28 年観光動態調査結果	3
1. 調査結果の概要	4
2. 四半期別観光客数	5
3. 外国人観光客数	7
4. 宿泊客数動向	9
5. 観光消費額	10
II 施設別集計資料	11
1. 市営温泉の入浴者数	12
2. 主要観光施設の入込客数	13
III 参 考 資 料	14
有料宿泊施設調べ（平成 28 年 3 月末現在）	15
市有温泉数調べ（平成 28 年 12 月末現在）	15
別府温泉の状況（平成 28 年 3 月末現在）	15
平成 28 年別府市のイベント開催状況	16
別府市民憲章（昭和 43 年 1 月制定）	18
別府の市花と市木	18
別府市の変遷	18

資料提供機関

1. 官公庁

国土交通省観光庁	大分県観光・地域振興課
大分県東部保健所	別府市観光戦略部温泉課
別府市経済産業部公営競技事務所	別府市総務部市民税課
大分県国際観光船誘致促進協議会	

2. 団体・施設

(一社)別府市観光協会	別府市旅館ホテル組合連合会	別府市外国人旅行者統計研究会
別府インターナショナルプラザ	スギノイパレス	アクアビート
別府地獄組合	高崎山自然動物園	別府ラクテンチ
うみたまご	別府ロープウェイ	アフリカンサファリ
ハーモニーランド	別府リンゴ園	城島高原パーク
ビーコンプラザ	グローバルタワー	大分香りの博物館
ひょうたん温泉	別府湾サービスエリア	潮彩屋
みょうばん湯の里	べっふアリーナ	志高湖野営場
神楽女湖菖蒲園	別府市美術館	別府市竹細工伝統産業会館
市営温泉	別府競輪場	地獄蒸し工房鉄輪
城島高原ゴルフクラブ	別府扇山ゴルフ倶楽部	別府の森ゴルフ倶楽部

(順不同)

別府市の観光客数等の算出方法

1. 総観光客数の算出方法

観光庁により策定された「観光入込客統計に関する共通基準」に該当する観光地点への観光入込客数の延人数(観光地点の観光客数の調査集計)を用いて、総観光客数を算出

2. 宿泊客数の算出方法

別府市入湯税の申告データより算出(入湯税の課税対象とならない施設の宿泊客数は計上されていない)

別府市税条例

第141条 入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する

- 前項の鉱泉浴場とは、温泉法(昭和23年法律第125号)第2条に規定する温泉及び同法の温泉に類するもので鉱泉と認められるものを利用する旅館、料理屋、入湯貸間、寮、保養所等及びこれらに類似した行為を行う場所の浴場をいう

3. 日帰り客数の算出方法

総観光客数から宿泊客数を差引くことにより、日帰り客数を算出

$$\text{総観光客数} - \text{宿泊客数} = \text{日帰り客数}$$

4. 主要観光施設の入込客数の算出方法

別府市周辺の 20 観光施設(13 ページ 表 2-1)の入込客数を合計して算出

5. 外国人観光客数の算出方法

「別府市外国人旅行者統計研究会」「別府インターナショナルプラザ」「大分県国際観光船誘致促進協議会」等の提供資料をもとに算出

6. 観光消費額の算出方法

観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」の大分県観光消費額単価(速報値:日本人・外国人別、宿泊・日帰り別)に客数(日本人・外国人別、宿泊・日帰り別)を乗じて算出

$$\text{大分県観光消費額単価} \times \text{客数} = \text{観光消費額}$$

I 平成 28 年観光動態調査結果

平成 28 年(平成 28 年 1 月～平成 28 年 12 月)

別府市観光動態調査結果

1. 調査結果の概要

平成 28 年の別府市における総観光客数は、7,944,021 人となった。その内訳は下記のとおりである。

総観光客数 7,944,021 人 前年比 9.7%減 (853,419 人減)
日帰り客数 5,595,437 人 前年比 10.3%減 (644,054 人減)
宿泊客数 2,348,584 人 前年比 8.2%減 (209,365 人減)

① 発地別宿泊客割合 県外客比率 83.9%

(単位 :%)

北海道・東北	関東	中部	近畿	中四国	福岡県	大分県	その他九州	韓国	その他外国	合計
1.2	12.0	3.0	6.6	8.3	24.6	16.1	13.7	8.1	6.4	100.0

② 主要観光施設の入込客数は 4,142,262 人で、前年比 16.4%減 (814,318 人減)。

③ 外国人観光客数は 447,412 人で、前年比 2.2%増 (9,648 人増)。

外国人観光客数上位 5 カ国は、以下の通りである。

1 韓国	213,436 人
2 台湾	69,749 人
3 香港	51,159 人
4 中国	46,993 人
5 タイ	22,779 人

外国人観光客数は前年比 2.2%増加したものの、うち宿泊客数は同 1.3%減少した。熊本地震の影響等から韓国人観光客は前年比 1.5%減と若干減少したものの、台湾人観光客は大分空港と台中市を結ぶマンダリン航空の定期チャーター便が就航(平成 28 年 9 月就航)したことから、同 14.6%増となった。

2. 四半期別観光客数

平成28年1月～3月の観光客数は前年同期と比べ増加したが、同年4月に発生した熊本地震の影響で、4月～6月は前年同期比30.8%減と大幅に減少した。7月以降は九州ふっこう割等の支援策により観光客数は急速に回復し、10月～12月は同1.5%減と減少幅は縮小した。

【表2-1 平成28年 四半期別観光客数(1)】

(単位:人、%)

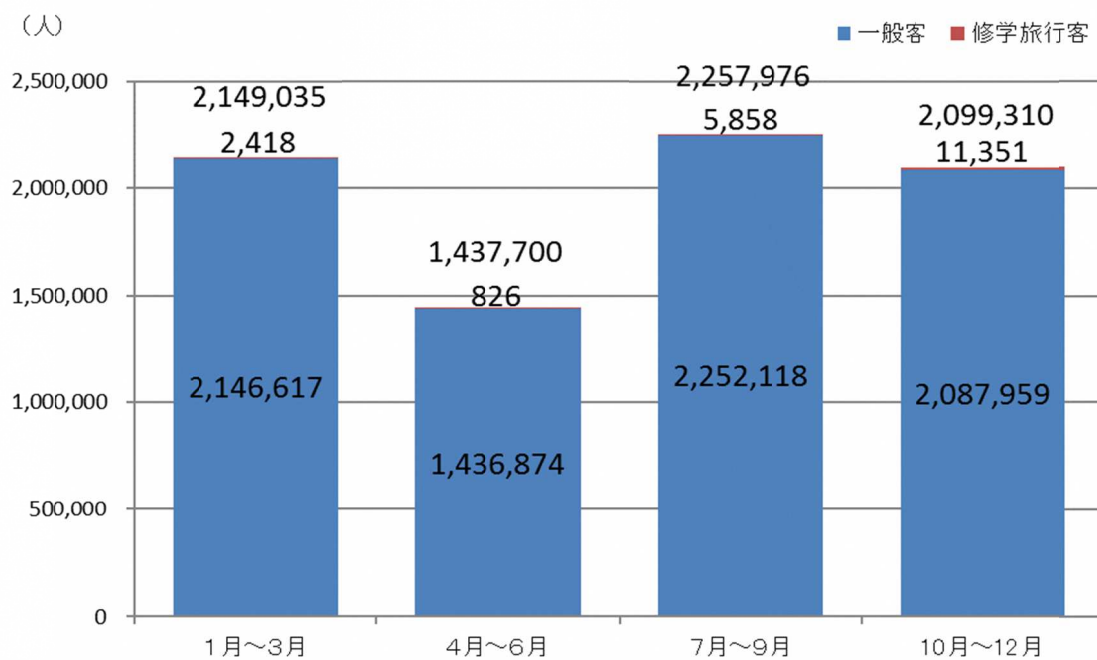
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計
一般客	2,146,617	1,436,874	2,252,118	2,087,959	7,923,568
修学旅行客	2,418	826	5,858	11,351	20,453
合計	2,149,035	1,437,700	2,257,976	2,099,310	7,944,021
前年	2,059,616	2,076,277	2,529,205	2,132,342	8,797,440
前年比	+ 4.3	▲ 30.8	▲ 10.7	▲ 1.5	▲ 9.7

【表2-2 平成28年 四半期別観光客数(2)】

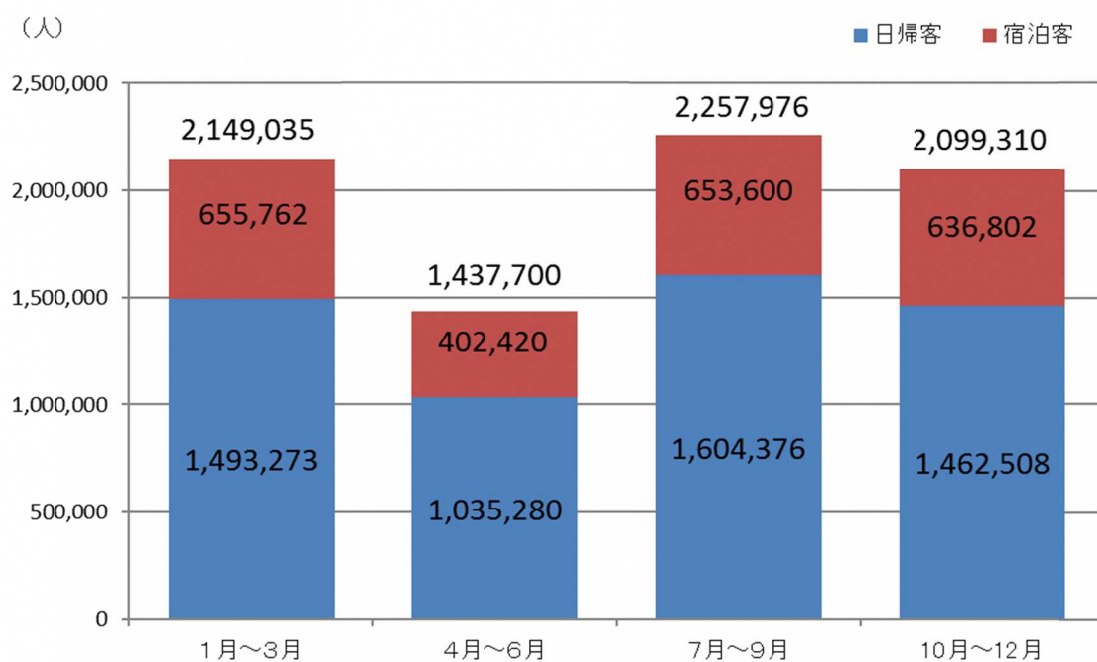
(単位:人、%)

		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計
日帰客	一般客	1,492,155	1,034,853	1,599,361	1,453,641	5,580,010
	修学旅行	1,118	427	5,015	8,867	15,427
	合計	1,493,273	1,035,280	1,604,376	1,462,508	5,595,437
	前年	1,426,280	1,496,223	1,847,617	1,469,371	6,239,491
	前年比	+ 4.7	▲ 30.8	▲ 13.2	▲ 0.5	▲ 10.3
宿泊客	一般客	654,462	402,021	652,757	634,318	2,343,558
	修学旅行	1,300	399	843	2,484	5,026
	合計	655,762	402,420	653,600	636,802	2,348,584
	前年	633,336	580,054	681,588	662,971	2,557,949
	前年比	+ 3.5	▲ 30.6	▲ 4.1	▲ 3.9	▲ 8.2

【図 2-1 平成 28 年 四半期別観光客数 (1)】



【図 2-2 平成 28 年 四半期別観光客数 (2)】



3. 外国人観光客数

外国人観光客は、447,412人で前年比2.2%増加した。国別では、韓国が47.7%を占め最も多く、次いで台湾(構成比15.6%)、香港(同11.4%)、中国(同10.5%)、タイ(同5.1%)となっており、アジア地域で全体の93.2%を占めた。

そのうち、宿泊客数は340,331人で、前年比1.3%減少した。国別では、韓国が55.9%を占め最も多く、次いで台湾(構成比16.8%)、香港(同9.6%)、中国(同7.0%)、タイ(同3.9%)となっている。

【表 3-1 国籍別外国人観光客数】

(単位:人、%)

地域	国名	平成28年 観光客数			平成27年 観光客数			前年比 (観光客数)
		日帰客数	宿泊客数	日帰客数	宿泊客数			
アジア	韓国	213,436	23,111	190,325	216,627	21,832	194,795	▲ 1.5
	台湾	69,749	12,726	57,023	60,839	5,076	55,763	+ 14.6
	香港	51,159	18,382	32,777	95,533	36,943	58,590	+ 2.7
	中国	46,993	23,326	23,667				
	タイ	22,779	9,374	13,405	30,628	11,596	19,032	▲ 25.6
	シンガポール	6,190	1,415	4,775	7,204	2,122	5,082	▲ 14.3
	マレーシア	2,122	494	1,628	685	351	334	+ 209.8
	インドネシア	1,310	507	803	663	290	373	+ 97.6
	フィリピン	814	585	229	335	304	31	+ 143.0
	インド	321	219	102	143	113	30	+ 124.5
	その他アジア	2,198	1,015	1,183	2,081	714	1,367	+ 5.6
	計	417,071	91,154	325,917	414,738	79,341	335,397	+ 0.6
北米	アメリカ	4,597	2,144	2,453	4,088	1,557	2,531	+ 12.5
	カナダ	1,238	876	362	1,123	598	525	+ 10.2
	計	5,835	3,020	2,815	5,211	2,155	3,056	+ 12.0
欧州	フランス	2,416	1,887	529	2,846	2,236	610	▲ 15.1
	ドイツ	1,978	1,462	516	2,286	1,618	668	▲ 13.5
	イギリス	1,777	1,462	315	1,322	792	530	+ 34.4
	ロシア	1,098	271	827	206	129	77	+ 433.0
	スペイン	865	714	151	711	605	106	+ 21.7
	イタリア	815	595	220	1,027	747	280	▲ 20.6
豪州	オーストラリア	2,190	1,518	672	1,724	1,149	575	+ 27.0
その他		13,367	4,998	8,369	7,693	4,153	3,540	+ 73.8
合計		447,412	107,081	340,331	437,764	92,925	344,839	+ 2.2

注) 平成27年の中国の観光客には、香港を含んでいる

資料) 別府市外国人旅行者統計研究会、別府インターナショナルプラザ、大分県国際観光船誘致促進協議会

【表 3-2 外国人観光客総数ベスト 10 (平成 28 年)】

(単位:人、%)

順位	国名	観光客数	構成比
1	韓 国	213,436	47.7
2	台 湾	69,749	15.6
3	香 港	51,159	11.4
4	中 国	46,993	10.5
5	タ イ	22,779	5.1
6	シンガポール	6,190	1.4
7	ア メ リ カ	4,597	1.0
8	フ ラ ンス	2,416	0.5
9	オーストラリア	2,190	0.5
10	マレーシア	2,122	0.5

【表 3-3 外国人宿泊客数ベスト 10 (平成 28 年)】

(単位:人、%)

順位	国名	宿泊客数	構成比
1	韓 国	190,325	55.9
2	台 湾	57,023	16.8
3	香 港	32,777	9.6
4	中 国	23,667	7.0
5	タ イ	13,405	3.9
6	シンガポール	4,775	1.4
7	ア メ リ カ	2,453	0.7
8	マレーシア	1,628	0.5
9	ロ シ ア	827	0.2
10	インドネシア	803	0.2

4. 宿泊客数動向

平成28年の宿泊客数は2,348,584人で、前年比8.2%減少した。平成28年4月の熊本地震により、4月～6月の宿泊客数が前年同期と比べ約3割減少したことが影響した。

国内外別にみると、日本人宿泊客数が同9.3%減の2,008,253人、外国人宿泊客数が同1.3%減の340,331人となった(7ページ参照)。この結果、外国人宿泊客の占める割合は前年の13.5%から14.5%へと上昇した。

また、地域別にみると、全ての地域で宿泊客数は減少した。なかでも「鉄輪・明礬地域」の減少幅が大きくなっている。

【表 4-1 年別宿泊客数推移】 (単位:人)

年	宿泊客数
平成23年	2,243,644
平成24年	2,326,535
平成25年	2,356,276
平成26年	2,416,380
平成27年	2,557,949
平成28年	2,348,584

【表 4-2 地域別宿泊客数】 (単位:人、%)

地域 内訳	北浜・中央地域	鉄輪・明礬地域	堀田・観海寺地域	その他地域	合計
宿泊客数	1,020,040	347,410	879,826	101,308	2,348,584
構成比	43.4	14.8	37.5	4.3	100.0
前年宿泊客	1,081,811	450,304	917,057	108,777	2,557,949
前年比	▲ 5.7	▲ 22.8	▲ 4.1	▲ 6.9	▲ 8.2



5. 観光消費額

※1人当たりの消費額は日本人観光客および外国人観光客ともに観光庁作成による「共通基準による観光客統計」の大分県の数値を活用しており、平成28年の数値は速報値を使用しています。

【表 5-1 日本人観光客消費額】

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	2,008,253	25,585	51,381,153
日帰り客	5,488,356	5,737	31,486,698
合計	7,496,609		82,867,851

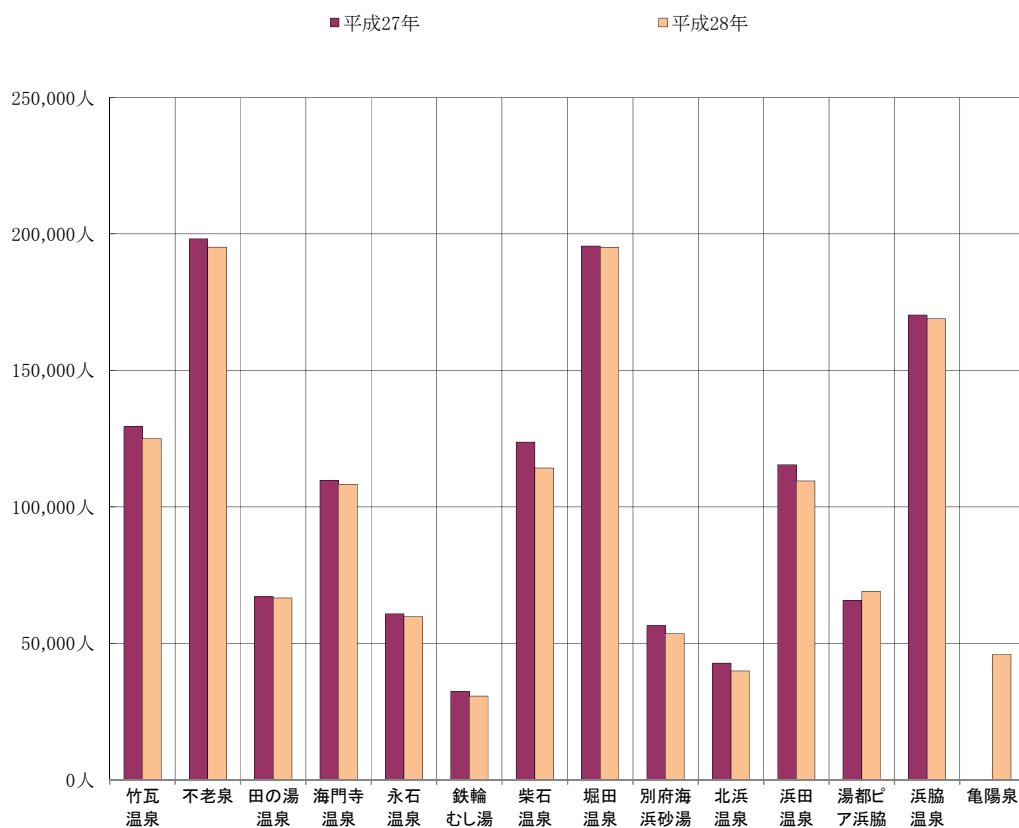
【表 5-2 外国人観光客消費額】

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	340,331	14,673	4,993,677
日帰り客	107,081	3,846	411,834
合計	447,412		5,405,510

II 施設別集計資料

1. 市営温泉の入浴者数

【図 1-1 市営温泉施設年別入浴者数（無料入浴者を含む）】



【表 1-1 市営温泉施設年別入浴者数（無料入浴者を含む）】

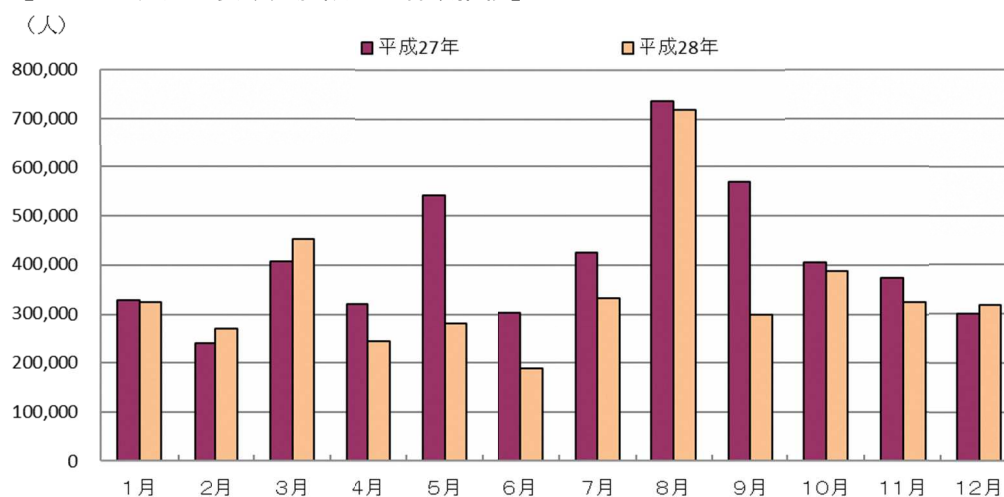
（単位：人）

	竹瓦温泉	不老泉	田の湯温泉	海門寺温泉	永石温泉	鉄輪むし湯	柴石温泉	堀田温泉	別府海浜砂湯	北浜温泉	浜田温泉	湯都ピア浜脇	浜脇温泉	亀陽泉	合計
平成27年	129,421	198,262	67,154	109,700	60,800	32,389	123,786	195,654	56,472	42,723	115,415	65,798	170,338	-	1,367,912
平成28年	124,997	195,204	66,606	108,263	59,716	30,714	114,249	195,092	53,506	39,872	109,478	69,104	168,930	45,907	1,381,638

注) 常駐者がおらず入浴者数が把握できていない市営温泉(2施設)を除く
 亀陽泉は平成28年7月末に市営温泉となったため、それ以前の入浴者数については把握していない
 資料) 別府市観光戦略部温泉課

2. 主要観光施設の入込客数

【図 2-1 月別主要観光施設入込客数推移】



【表 2-1 月別主要観光施設入込客数推移】

(単位:人、%)

月	区分	平成27年	平成28年	前年比
1月		329,896	324,881	▲ 1.5
2月		238,836	267,976	+ 12.2
3月		407,761	453,917	+ 11.3
4月		320,812	243,011	▲ 24.3
5月		541,263	282,670	▲ 47.8
6月		303,876	187,515	▲ 38.3
7月		426,616	333,396	▲ 21.9
8月		736,657	718,212	▲ 2.5
9月		569,549	299,236	▲ 47.5
10月		406,781	388,783	▲ 4.4
11月		374,240	324,389	▲ 13.3
12月		300,293	318,276	+ 6.0
計		4,956,580	4,142,262	▲ 16.4
主要観光施設名	城島高原パーク・アフリカンサファリ・別府地獄組合・ハーモニーランド・ 別府ロープウェイ・竹細工伝統産業会館・別府リンゴ園・別府市美術館・ スギノイパレス・高崎山自然動物園・うみたまご・関の江海水浴場・ 志高湖野営場・アクアビート・グローバルタワー・ビーコンプラザ・ 大分香りの博物館・神楽女湖菖蒲園・別府ラクテンチ・地獄蒸し工房鉄輪			

III 参 考 资 料

有料宿泊施設調べ

【表Ⅲ-1 有料宿泊施設数】

(単位:軒)

宿泊施設	施設数
ホテル	37
旅館	221
簡易宿所	10
下宿	1
合 計	269

資料)平成28年度大分県東部保健所報

市有温泉数調べ(平成28年12月末現在)

【表Ⅲ-2 市有温泉数】

区 分	普通浴場	むし湯	砂 湯	多目的温泉	計
市有市営温泉	12	1	1	2	16
市有区営温泉	67	0	0	0	67
市有賃貸温泉	0	0	0	0	0
計	79	1	1	2	83

注) 多目的温泉:湯都ピア浜脇、北浜温泉(テルマス)

資料) 別府市観光戦略部温泉課

別府温泉の状況

源泉数	2,292(孔)
1分間の湧出量	87,346(ℓ/分)
泉質	単純温泉・塩化物泉・炭酸水素塩泉・硫酸塩泉・含鉄泉・酸性泉・硫黄泉(全10種類中7種類の温泉が湧出)

資料)平成28年度大分県東部保健所報

平成 28 年 別府市のイベント開催状況

【表Ⅲ-3 平成 28 年 別府市のイベント開催状況】

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
4月1日 ～3日	別 府 八 湯 温 泉 ま つ り	駅 前 通 り ほ か	別府八湯の豊かな温泉の恵みに感謝する祭り。湯かけ神輿や扇山火まつりなどのイベントが開催される。また、市営温泉が無料開放される。	約100,000人
4月10日	べっぶ鶴見岳一 気 登 山 大 会	S P A ビ ー チ か ら 鶴 見 岳	海拔0mのSPAビーチから鶴見岳山頂1,375mを一気に登頂する大会。ルート約12kmは自動車道を通らずに踏破する日本唯一のコース。	2,988人
5月8日	由 布 岳 山 開 き 祭	由 布 岳	夏山シーズンの幕開けを告げる催し。登山客の安全祈願祭を合野越で実施し、記念品や豚汁の無料配布も行われる。	中止
6月18日	神 楽 女 湖 花 しょうぶ観賞会	神 楽 女 湖	奥別府の神楽女湖畔に植栽している約80種類1万5000株の花しょうぶの観賞会。演奏会も開かれる。なお花しょうぶの観賞期間は例年6月中旬～7月上旬。	観賞期間中の観賞客 18,627人
7月18日	関 の 江 海 水 浴 場 開 き	関 の 江 海 水 浴 場	関の江海水浴場開きを行い、利用者の安全を祈願する。海水浴場開設期間は7月18日(月)～8月12日(金)。	開設期間中の来場者 4,030人
7月29日 ～31日	べ っ ぶ 火 の 海 ま つ り	S P A ビ ー チ、 別 府 駅 前 通 り	別府の夏の風物詩である納涼花火大会は、県内最大数の大玉100連発など、合計6,000発の花火が打ち上げられる。観光客と住民が一緒になって踊る納涼音頭大会も盛大に開催される。	約199,000人
8月6日	亀川夏まつり	亀 川 漁 港	200年の伝統を持つ口説きと太鼓に合わせて踊る地踊りが披露され、花火大会も行われる。	約35,000人
8月20日	志 高 湖 夏 ま つ り	志 高 湖	志高湖の「竜神伝説」に由来した祭り。湖畔には松明が立ち並ぶ。松明行列のあと、火の踊りが披露される。	4,200人
8月26日 ～28日	浜 脇 薬 師 祭	浜 脇 地 区	浜脇温泉の恵みに感謝し、安置されている薬師如来の法要を行う祭り。商店街等に風流見立て細工が飾られ、花魁道中も行われる。	約13,200人

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
9月21日 ～23日	鉄輪湯あみ祭	鉄 輪 温 泉	鉄輪温泉を開いた一遍上人に感謝する祭り。一遍上人の座像を洗い清める。その他、稚児行列や奉納踊り、子供相撲等も行われる。	約1,500人
10月9日	別府湯けむり健康 マラソン・ウォーク大会	奥 別 府 (志高湖・神楽女湖周辺)	体力づくりとふれあいを目的に、思いのままに奥別府の大自然を満喫しながら、ランニングやウォーキングを楽しむ大会。	4,806人
11月5日 ～6日	BEPPUダンスフェスタ2016	別 府 公 園	別府の秋の一大イベント。踊りと交流をテーマに別府観光の活性化と地域を越えた交流を目的とする国際色あふれるダンスフェスティバル。	3イベント計 約60,000人
11月5日 ～6日	九州食の大宴会 @ 別府	別 府 公 園	別府市をはじめ、九州各地の郷土料理が味わえる「食」をテーマにしたイベント。	
11月5日	千 灯 明	別 府 公 園	千灯・万灯の灯りを別府市の中心部である、別府公園に灯すイベント。別府市内の園児や小学生を含む別府市内のボランティア団体が中心となって灯明を灯す。	
11月21日 ～22日	別 府 ONSEN ア カ デ ミ ア	ビーコンプラザ	世界の温泉地での温泉の利活用に関する講演、国内の温泉地の現状と課題について議論する全体会を開催。その他、別府市内で温泉の保護や利活用に関する取り組みを分科会で紹介。	約600人
12月23日 ～24日	べっぷクリスマス H A N A B I ファンタジア	ス パ ビ ー チ	クリスマスソングにあわせて花火を打ち上げる九州創作花火の競演会やクリスマスソングを1,000人の子供たちと歌う会など音楽と花火をシンクロさせた空間が幻想的なクリスマスの夜を演出する。	約190,000人

別府市民憲章(昭和43年1月制定)

わたしたちは、海と山にかこまれた美しい自然と、昼夜の別なくこんこんと湧きいづる温泉のまちに住む市民であることを誇りとし、魅力あふれる観光のまちづくりを目指しています。

わたしたちの市民憲章は次のとおりです。

1. 美しい町をつくりましょう。
2. 温泉を大切にしましょう。
3. お客様をあたたかく迎えましょう。

別府の市花と市木

市花

オオムラサキ (ツツジ科)

常緑低木。市内の街路や公園に多く植栽され、4月下旬から5月中旬の開花時期には赤紫色の大きな花を咲かせる。

市木

キンモクセイ (モクセイ科) 庭園緑化木

秋には黄金色の小花を咲かせ、芳香がある。別府の土壤に適しており、庭園などの緑化用として選定された。

クスノキ (クスノキ科) 公共緑化木

樹形雄大で風格があり、樹齢も長い。別府の土壤に適しており、公園などの緑化用として選定された。

別府市の変遷

大正13年4月	市制施行。
昭和10年9月	石垣村・朝日村・亀川町等を別府市に合併する。
昭和25年7月	別府国際観光温泉文化都市建設法制定。
昭和60年4月	市庁舎が現在地に移転。